

町報

2007
2月

No.431

こうふ



◎主な内容

- 江尾診療所・往診同行リポート①…… 2～5
- 西ノ島交歓スキー教室…… 6～7
- 町の話…… 8
- もちつきで広げよう、ふれあいの輪 ほか…… 9
- 第32回奥大山スキー大会…… 10
- 江府町進学奨励金支給制度のお知らせ ほか…… 11
- 男女雇用機会均等法が変わります…… 12
- 悪質な布団の「訪問販売」にご注意！… 13
- 2月の本棚～町立図書館より～…… 14
- 情報コーナー…… 15
- 行事あれこれ ほか…… 16
- 人の動き ほか…… 17
- 餅つき交流 ほか…… 18

救助訓練

(奥大山スキー場)

江尾診療所・往診同行りレポート①

武地医師（江尾診療所長）の往診は、診療日のおおむね午後から始まります。いったい「往診とはどんなことをするのでしょうか」、また「なぜ、往診が必要なのでしょうか？」。そんな素朴な疑問をもって、地域医療の最前線である往診に同行しました。

一回の平均走行距離は
約四十キロ

一月十二日午後二時からの
予定で、往診の取材をするこ

とになりました。

しかし、「急患が入りましたので、早めに出発します」

と、武地医師の張りのある一言で、往診に出發しました。

往診は、看護師が同行し、

医療機器などを持参して、武地医師自ら運転して行きます。

（取材日の往診は六人。走行距離は約四十km）

最初に、チロルの里特別養

護老人ホームで、入所者の方

3人の診察をしました。

武地医師は十八年四月から、

嘱託医を受けており、鳥取大

学医学部の河口医師と二人で、

毎週土曜日に診察を行っています。

ます。

今の状況を本人・家族に わかりやすく説明

往診に行く途中、車中から歩いている人の姿を見て、武地医師は、「私が赴任した十年前は、健康のために歩いてい

る人はありませんでしたね」

と感慨深げに。「ただ、あのような歩き方では残念ながら、運動にはなりませんね。運動しないよりいいとは思いますが

けど」と。

そして、江尾地内のお宅に介護にあたる家族の方は、「先生、お世話になります。膝が痛くて、歩けないというもの



歩いて往診に向う武地医師と看護師



武地医師の指示をメモする亀山看護師

で急に診療所に電話したところです」と話していました。

武地医師は患者さんに、「新年おめでとう」と笑顔で話しかけながら、「ちよつと、部屋寒くない？」と周りの環境もチェックしながら、血圧を測り、家族の方からも近況を聞いていました。「ちよつと、膝に注射しておこうね。すこし、痛いかもしれないけど、我慢してよ。」と、患者さんの耳元でゆつくりと、わかりやすく言葉をかけていました。また、「デイサービスに週三回行っていますよね。今後のことは、ケアマネージャー（介護支援専門員）さんと、よく相談して考えましょう」と、家族の方に話すとともに、看護師にも、ケアマネージャーに状況を報告するように指示を出していました。

処置が終わると、「医療と介護との連携は大切ですからね。」と、ひとつづつぶやきながら車に。

往診は月平均 約三十人

次は、俣野方面です。

「往診に行くのに、雪がなくて助かります。江府町の場合は、診察する時間より、移動時間のほうが長いですからね」と武地医師。

そもそも、往診とは何ですかと、素朴な疑問を投げかけると武地医師は、「往診は、本人や家族の了解のもと、寝たきりであったり、地理的、気候的な条件のために、通院することが困難な方であったり、通院することで、さらに病状が悪化することが考えられる場合に行っています。月に約三十人、回数は延べで七十回。回数は患者さんの病状によって異なりますが、一人の人に月に二回くらいでしようかね」と話していました。次の患者さん宅に到着。「こんにちは。あがりませよ」と、患者さんの部屋に。「どうですか？」「うんこはできますか？」「かたいの？やわらかいの？」と患者さんの表情をみながら、お腹を触り診察が始まりました。聴診器

を当てながら、「うん、大丈夫だね」と本人にも家族にも今の状況を説明して、次の患者さんのところに。

どんな医療機器を 持っていくのですか

そして、今度は米沢方面へ。「とにかく、十年前と比較す

ると、町内の交通網はよくなりましたよ。十年前は、俣野地区から米沢地区に行くに、江尾まで帰ってから行かなくていけなかったのに。まるで、往診のために、道路が整備されたような気がしますね」と、笑みをたたえながら運転する武地医師。

二十分で、次の患者さんの

ところに到着。

患者さんは、二十四時間点滴の必要方。ここでは、点滴の交換などを行います。自動の点滴器が作動しています。仮に点滴がなると、点滴機から、「点滴がなくなりまし

薬のチェックもします

た」と、音声で知らせるようになっていきます。「定期的に看護師が訪問して、点滴を取替えます。私は週三回、病状把握に往診に行っています」と武地医師。病院にいるのと、かわりないような気がしました。

「往診には、どんな医療機器をもっていきますか？」と、問いかけると、武地医師は、「血圧計、血液検査器、心電図検査器、エコー検査器などをもっていきます。患者さんのなかには、寝たきりで認知症などが進んでいる方もいます。自分自身で、意思を伝えることのできない方もいます。そのために、血圧や血液を分析して、今の病状を把握しています。持っていない医療機器は、レントゲンぐらいですかね」と。

往診に持っていくものというイメージがなくなり、医学はこんなに進歩しているのかと、痛感しました。



在宅での生活も チェックして

次に、江尾地内の患者さん宅に。

診察が終わると武地医師が、患者さんに「薬飲んでる？」

「おん」「じゃー、薬みせてもらうよ」と家族に。看護師が薬をチェックすると、「夕食後の薬が、かなり余ってますね」と武地医師に報告しました。この患者さんは、認知症が進んでいるので、家族がきちんと飲ませないと飲むことができません。家族の方が「実は家族の中で、夕食後に薬を飲むものがなくて、ついつい忘れて」と。

すると、武地医師は「薬を朝だけにするようにかえようか」と。

常に、患者さんの病状を把握し、同時に、家庭での生活実態を含めて考えることが大事だと感じました。

そして、最後の患者さん宅に。

ここは、胃ろうの取替えと病状の把握です。

胃ろうとは、お腹に穴を開けて直接、胃袋に栄養を補給

するものです。月一回、胃ろうの交換が必要です。

「一か月間、栄養を補給し続けると、胃ろうにカスがたまり、不衛生になります。栄養がうまく補給できないことにもなりかねません」と言いながら、胃ろうの交換をしていました。

「次に血液検査をしましょうね」と、大きな声で患者さんの耳元に呼びかけ、かすかな反応を確かめる武地医師。この患者さんは、自分の意思を伝えることができないので、定期的に血液を調べて、現在の身体の状態を把握する必要があるからでした。

冬場に三往復した こともありましたね

この患者さんの往診が終わったのが、夕暮れ時のちょうど午後四時三十分でした。診療所に帰る車中で、往診に付いてのエピソードを聞いてみました。

「この積雪時期に、こんなことがありました。診療所から約七キロ離れた集落に最後の往診、しかも夜。集落内の

道路は、除雪などしてありません。五十センチメートル以上の雪をかきわけ、やっこの思いで、ある患者さんのお宅に到着しました。すると、その患者さんは肺炎でした。救急車を呼ぼうとすると、わしは絶対入院はせん！」と頑固いつてんばり。困り果て、また診療所に帰って点滴を持参し、患者さん宅で処置、血液検査などをして病状を把握しました。そのあと、またまた診療所に帰って、自分で薬を処方して、投薬したことがありました。冬場に三回、診療所と患者さん宅を往復しましたね。在宅医療に携わる、全国の医療従事者には、こんなエピソードは山ほどあると思います。



声をかけながら診察する武地医師

在宅医療は みんなの連携で

在宅医療は、いくら私だけが頑張っても、限界があります。家族のみなさんの協力、介護サービスのスタッフ、病院、介護老人施設など、あらゆる機関が連携してはじめてできるものです。その調整を図るのが、私たち医師の役割だと思えます。

今、江府町は、保健、医療、福祉の連携のもと、全国のほかの地域に負けないくらい、住民のみなさんが、安心して暮らせる町として進んでいます。今後もさらに、町民のみ

なさんが、江府町に住んでよかったと、言っていただけのようにがんばっていきます」と、武地医師は話していました。

武地医師は診療所に帰ると、待合室に患者さんが5人いるのが眼に入ったのか、「よし！」と、自分を鼓舞するように気合を入れて、診察室に足早に入っていました。

（なお、この取材にあたっては、ご本人・ご家族の了解をいただいて行いました。紙面を通じて、ご協力いただいたみなさんに心から感謝申し上げます）

鳥取大学医学部生 江尾診療所リポート

平成十八年度から、鳥取大学医学部の授業の一環として、江尾診療所の見学実習が行われるようになり、見学実習をした学生から感想が寄せられました。その一部を紹介します。

地域医療への

考え方が変わった

鳥取大学医学部5年生

難波富美子

テレビドラマで見る地域医療は、医師と住民の良好な信頼関係が築かれすぎて、地域医療が理想的な医療として、美化されすぎだと感じていました。

定期往診のために、段々畑の間の坂道を、往診力パンを下げて歩いて通い、患者さんの自宅に持ち込める検査道具は、携帯可能な聴診器と血圧計だけ。医療技術の高度化に伴って、医師の専門化は進み、同じ内科でも循環器、消化器などと、専門は細分化される現在、地域医療を行うことに、医師としてのやりがいを感じられるのだろうか、疑問があったというのが私の正直な

気持ちでした。

私が住んでいるところは、下宿先も自宅も、高度な医療技術を提供する病院の近くですが、かかりつけ医がいるとはいえません。

しかし、江府町の住民の方たちは違いました。普段の健康状態、病歴の把握、また往診、必要に応じて他の医療機関を紹介してもらえる、身近なかかりつけ医がいるのです。武地先生は、皮膚科、耳鼻科、眼科の病気だろうと、何でも診て相談にのり、必要があれば、その地域の専門医を紹介するのです。

武地先生は、一つの科にとらわれない全人的医療を行い、病気だけでなく、その家庭を見て、何をしてあげたらいいのかを考えておられました。病気に対しての教育、病気を起こさないための健康教育

と、医療だけでなく、保健・福祉、そして行政を動かすような仕事をされていました。

四季折々の季節を感じながらの往診、そして、その中で人づきあいをされる先生を見て、医療が住民の生活の中の一部になっっているように感じました。

今回の、江尾診療所の訪問を経験して、私の地域医療に対して感じていた考えは、根底から覆されました。

大変な労力と根気を持って、しっかりとしたシステムを造り、役場の人たちや住民と協力すれば、かなり充実した医療を提供できることを知りました。半日だけでしたが、武地先生と看護師さんについて行って、多くの住民の方と触れ合い、地域医療として軌道に乗っている、江尾診療所の日々の診療の一端を見ることができ、本当に良かったです。

地域医療が医療の根底を支えていることを知った

鳥取大学医学部5年生

木村 直幹

特に理由もなく、江尾診療

所の見学を選択しました。理由を何か挙げてみるといわれると、テレビや新聞でいろいろ問題が取り上げられている、地域医療の現状を見てみたいという気は、少しありました。いざ江尾駅に降りてみると、江尾診療所は想像とは全く違い、立派な建物で予想外に大きく驚きました。施設も歯科医院もあり、江府町の医療はこれで十分ではないかと感じました。

それは、江府町の広さ、誰でも診療所に簡単に行くことが出来ない、ということを知る前でした。往診に付いていただけせてもらった後、全く考えは変わりました。往診ですぐに、江府町の広さと、車がなければ、本当に移動に不便な地域であることに気がつきました。それは、私だけではなく、一緒に見学にきていた他の二人もそうだったと思います。

六人の患者さんを、診させていただきましたが、全く考え付かない問題があることを学びました。

高齢者の、一人暮らしの問題として生活での苦勞は気が

つきます。でも、認知症の高齢者の、薬の管理の難しさは、全く考えたことがありませんでした。輸血に際しても、米子から血液を取り寄せ、交叉適合試験を岡山にある医療機関に頼み、結果を知り輸血する。輸血するにも、手間がかかることもそうです。

また、介護する方に、相当の負担やストレスがかかることも分かり、本当にいろいろなと考えさせられる時間でした。往診の医療を見させていた

だいて、地域医療が医療現場の根底を支えていることがよく分かりました。今回、江尾診療所に見学を希望して、正解だったと思います。鳥取大学の全ての学生に、一度はこういった地域の見学の機会を与えるべきと考えます。もしかするとそれが、臨床研修を鳥取大病院でと希望する人が増える？かもしれません。

最後に、本当にすばらしい経験をさせていただき、武地先生、江尾診療所や江府町のみなさんに感謝しています。ありがとうございます。

一月三十日から二月一日まで、第二十八回江府町・西ノ島町交歓スキー教室が行われました。姉妹町交流の一環としてこの教室に参加したのは、両町の五年生児童六十名（江府町三十九名、西ノ島町二十一名）。暖冬で直前まで雪不足が心配されましたが、前日の積雪と晴れた空で当日の鏡ヶ成スキー場は絶好のコンディション。夏の臨海学校から交流を深めてきた児童たちは、再会を喜びあいながら、元気いっぱいスキーを楽しみました。両町児童がともに過ごすのは二日間でしたが、スキーのほか学校紹介やレクリエーションなどさまざまな交流を通して友情を確かめました。



▲ロッジ前で出迎え「ようこそ」

歓迎のことば
 明倫小学校 生田 遥夏
 きょうは、江府町にお越しいただいてありがとうございます。
 夏は、西ノ島町のみなさんにお世話になりました。私がいちばん心に残ったことは、ローボートとかカヌーをやさしく教えてくださいました。とてもうれしかったです。今日と明日は、スキーを楽しんでもらえるようにがんばりたいと思います。わからないことがあったら聞いてください。今日と明日はよろしくお願ひします。



▲夕食はジンギスカンと「貝田米」のおにぎりで



▲隠岐民謡「しげさ節」見事！

スキー教室

さあゲレンデへ！



夜の交流
 学校紹介



西ノ島交歓



インストラクターさん、熱血指導!!



この日は、朝から降り続く雪と時折吹きつける強い風の中でのスキーとなりましたが、子どもたちは早速リフト乗り場へ。指導員のみなさんの熱心な指導でめきめき上達し、ちょっぴり自信をつけた西ノ島町の児童たちは「高いところからも滑ってみたい」と、第2リフトにチャレンジ。雪がやみ、少しずつ晴れ間ものぞきはじめての昼前には、21人全員がストックなしでバランスよく見事にすべりおりました。短期間でしたが、初めての雪山とスキーの楽しさを満喫、お土産で少しふくらんだ荷物を手に帰路につきました。



▲リフトにも余裕の笑顔で



▲指導員さんと記念撮影、ピース!!



お礼のことば

黒木小学校 塚本 圭介

僕は今回始めてスキーをしました。最初は難しそうだなと思っていましたが、スキーの指導員の方や江府町の友だちがいていねいに教えてくれたので、だいぶ上達できました。だから、もっとスキーをすべりたいなと思いました。ブレーキをかけることがうまくなってきたので、転ぶことも前より少なくなりました。リフトは少し怖かったけど、うまくおこなうことができたので自信が持てました。江府町の友だちとはもうお別れです。短い時間でしたが、ありがとうございました。でも、今回だけではなく、これからもずっと交流していきたいなと思いました。
 最後にになりましたが、このスキー教室のためにいろいろお世話をしてくれた江府町のみなさん、西ノ島町のみなさんにお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

3日目は 奥大山スキー場へ!!

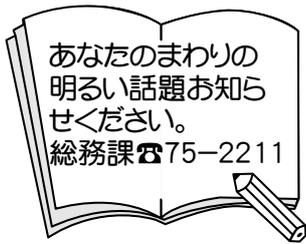


▲方向転換もバッチリ!!

楽しかったね
 また会いましょう!!



▲江尾小のみんなが国道沿いでバスを見送りました



町 の 話 題

声をかけられても ついていけない!

一月十九日、子供の国保育園で防犯訓練がありました。

最初に、緊急通報してから、応援が到着するまでの時間を確認しました。

そのあと、黒坂警察署の職員のみなさんと組織している、クロパト劇団の公演がありました。

子供の国保育園で、二回目の公演となるのですが、防犯の合言葉、「いかのおすし」をテーマに園児にわかりやすく、楽しく防犯の大切さを訴えました。

「いかのおすし」とは、

ついていけない

車にのらない

おおきな声をだす

すぐ逃げる

しらせる の意味があります。



災害に備えて

一月二十四日、奥大山スキー場で、災害訓練がありました。

スキー場で負傷者がある想定で、鳥取県防災ヘリコプターを要請する訓練でした。

最初に、スキーパトロール隊が、負傷者をボードに固定して麓まで搬送しました。

また、ヘリコプターが着陸する場所の整備をおこなったり、立ち入り禁止のテープを張ったりなどの準備をしました。

雪山での災害は、交通、寒さ、天候の悪さなどいろいろな障害があります。普段から訓練行うことで、災害時に、迅速に救助できるのではと思いました。



鬼は〜外 福は〜内

二月五日、子供の国保育園で節分の豆まきがありました。

園児たちは、最初に紙芝居で、節分の意味や自分の中にいる鬼を退治しようなどのお話を聞きました。

そして、自分の年だけの豆を食べました。

つぎは豆まきです。大きな声で、鬼は〜外 福は〜内と豆をまきました。



1月11日、米沢小学校体育館でもちつき交流集会が開かれました。

昨年、集落からの声かけで実現したこの交流は、地域の小学校のために何かできることは…という美用のみなさんの熱意で今年も大盛況。

子どもたちが見守る中、杵をつく人、もちを返す人。息の合った『ベテランの技』を見た後、子どもたちは、地域の方の手ほどきを受けながら本当の餅つきの二役を体験しました。

つきあがった餅は、早速、黄な粉もちやぜんざいにしていただき、みんなでおいしくつきたてを味わいました。



▲ベテランの技を伝授してもらいます



▲「もちつきは楽しかったし、おもちもおいしかったです」



▲なかなかいい手つき!!

美用のみなさんと米沢小児童

もちつきで広げよう、ふれあいの輪

マークス だいありい⑰

MY FAVORITE RESTAURANT IN JAPAN (日本のお気に入りのレストラン)

ハローエブリワン！ 暖冬が続いていましたが、やっと本格的な冬といった感じになりました。雪かきをされた方、お疲れ様でした。大変だったことでしょう。さて、今月のマークスだいありいですが、先生に質問をしてみました。毎日の食事はどうされているんだろう？ ということです。よく行かれるレストランなどもあるのではないのでしょうか。

I usually cook dinner three times a week. I make things like curry rice, spaghetti, or soup. (私はいつも、週3回夕食をつくります。カレーライス、スパゲッティ、スープをつくるのが好きです。)

In Kofu town, we can have delicious food and my favorite beer in Japan at Everland Okudaisen, and ramen and Japanese favorites at Okamoto. (江府町でも、おいしいものが食べられますし、日本でのお気に入りのビールが「エバーランド奥大山」にありますし、ラーメンは「おかもと」が大好きです。)

I go to most is Branch in Neu. This is restaurant that serves Japanese favorites, pizza, spaghetti, and many other things. (私がおもっとも行くのが、根雨の「ぶらんち」です。レストランで気に入っていて、ピザやスパゲッティ、その他いろいろなものが出てきます。)

The owner and chef is a retired jazz pianist, and he plays jazz CDs while you eat. (オーナーシェフは元ジャズピアニストで、食べている間は、ジャズのCDが流れています。)

Sometimes, if he is not busy, he even plays the piano! (時々忙しくなければ、ピアノを弾いてくださいます。)

※外食もいいですが、少々栄養のバランスも気になります。



大回転で江府中アベックV!

第三十二回奥大山スキー大会

一月二十七日、第三十二回

奥大山スキー大会が、奥大山スキー場において行われ、アルペン、スノーボード、クロスカントリースキーの三競技に十八名が出場しました。

今年には稀に見る暖冬で、大会の開催が危ぶまれるほどの雪不足でしたが、コース整備にとりかかった前日夕方から大会を待っていたかのように雪が降り、レースは予定どおり十時三十分にスタートしました。

積雪状況により、コース変更を余儀なくされましたが、選手たちは悪条件にも負けず、元氣いっぱい力と技を競い合いました。

中でもアルペン競技の中学生の部では、男女とも江府中の生徒が優勝。アベック優勝は、第二十二回大会以来の快挙となりました。

優勝者及び、町内入賞者は次のとおりです。
(所属は町内分のみ掲載)

●大回転

小学女子低学年

- ① 河上 怜奈 (江尾小)

小学男子低学年

- ① 大垣 涼
- ② 末次 大輔 (米沢小)
- ③ 森川太久哉 (江尾小)
- ④ 金井 寛幸 (米沢小)
- ⑥ 藤原 有恭 (江尾小)

小学女子高学年

- ① 吉儀 美波
- ② 下垣 奈穂 (米沢小)
- ③ 末次 佳奈 (米沢小)
- ④ 伊達 悠菜 (米沢小)
- ⑤ 小椋 彩加 (米沢小)
- ⑥ 小椋 清加 (米沢小)

小学男子高学年

- ① 坂本 翔夢
- ② 大澤 聖一 (米沢小)
- ④ 澤口 史弥 (米沢小)

中学女子

- ① 藤原 美緒 (江府中)
- ② 広瀬 美香
- ③ 下垣 祐委 (江府中)
- ④ 伊達 未悠 (江府中)

中学男子

- ① 加藤 匠 (江府中)
- ⑤ 加藤 康介 (江府中)

一般男子

- ① 川上 拓磨 (奥大山SC)
- ③ 高津 亮二 (奥大山SC)

●スノーボード

男子

- ① 大東 和則
- ② 渡部 祥二

*大回転一般女子、スノーボード女子の出場者はありませんでした。

●クロスカントリースキー

小学女子低学年

- ① 遠藤 花菜

小学男子低学年

- ① 假谷 佳祐

小学女子高学年

- ① 小谷 涼香

小学男子高学年

- ① 木村 隼人

中学女子

- ① 足羽 未帆

中学男子

- ① 新田 勝也

団体・小学女子

- ① 日光小・C

団体・小学男子

- ① 日光小・A



▲江府町の入賞者 みんなそろって

「学びたい」あなたを応援します

江府町進学奨励金

支給制度のお知らせ

江府町進学奨励金制度は、経済的な理由により、高校や大学、専修学校等に進学することが困難な方に対して奨励金を支給し、修学を支援する制度です。

● 支給対象者は、次の要件を満たした方です。

① 江府町内に居住する者の子弟で、学校教育法に規定する高等学校及び高等専門学校、大学、専修学校及び各種学校に在学する者。

② 次のいずれかの制度で修学資金の貸与、または給付を受けている者

- ★ 鳥取県育英奨学金
- ★ 鳥取県専修学校奨学資金

● 支給額は次のとおりです。支給は年二回、教育委員会で行います。

あらかじめ支給する日を連絡し、さまざまなテーマで研修会を行います。

- ★ 自宅通学者 月額 四〇〇〇円
- ★ 自宅外通学者 月額 六〇〇〇円

● 申請には「在学証明書」と「貸与決定通知の写し」が必要です。

くわしくは、教育委員会へ
おたずねください。

電話 七五―二二三三



スポーツ安全保険に加入しましょう!!

この保険は、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、指導活動を行う5人以上のアマチュア団体を対象として、グループ活動中の傷害事故、賠償責任を負う事故を保障するものです。活動に伴う移動（通常の経路往復）中の事故も含まれます。

保険期間は、平成19年4月1日から平成20年3月31日まで、加入の受付は教育委員会で行っています。

対象となる団体	掛金 (一人金額)	傷害保険（保険金額）			
		死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)
○こどもの団体（中学生以下） ○文化・ボランティア・地域活動（高校生以上）	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
○大人のスポーツ活動（16歳以上）	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
○老人クラブなど（60歳以上）	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円
○危険度の高いスポーツ活動	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円
賠償責任保険（支払い限度額）（免責 1,000円） 身体賠償：1人1億円・1事故5億円 財物賠償：1事故500万円		共済見舞金 突然死（急性心不全、脳内出血等） 160万円			

くわしくは……………（財）スポーツ安全協会鳥取県支部 電話（0857）28-7221 まで

男女雇用機会均等法が

変わります!!

…働く人が、性別により差別されることなくまた働く女性が

母性を尊重され、その能力を十分発揮できる雇用環境を…

性別による差別の範囲の拡大、妊娠などを理由とする不利益取扱いの禁止などを定めた、改正男女雇用機会均等法が四月一日からスタートします。

改正のポイント

○男性に対する差別も禁止
女性のみだったものが、男女双方に対する差別の禁止に拡大され、男性も、紛争の解決援助が利用できるようになります。

○禁止される差別が追加、明確化
採用、昇進などに加えて、

降格・職種変更・雇用形態の変更・退職勧奨・雇止めについても性別による差別の禁止
また、配置に業務の配分や権限の付与が含まれることを明確化。

○間接差別が禁止

女性を採用・登用しなくすむよう、女性が満たしにくい要件をつけるなど、差別事案が複雑化する中で、形を変えた差別への対応が課題となつていきます。

○妊娠・出産などを理由とする解雇・その他の不利益な取扱いの禁止

○男性に対するセクシャルハラスメントも禁止

事業主は、男性に対するセクシャルハラスメントも含め、対策をしなければなりません。

○母性健康管理の措置

事業主は、妊娠中および出産後の健康管理に関して、時差勤務、勤務時間の短縮などをすることが義務となつていきます。こうした措置がされず、

紛争が起きた場合、調停など紛争解決援助の申し出を行うことができます。

○過料の創設

事業主が、報告をしない、また、うその報告をした場合は、過料に処せられます。



区 分	禁止される例
男性に対する差別も禁止	・募集または採用の対象を男女いずれかのみとすること
禁止される差別の追加・明確化	・内勤、外勤を性別によって区別し、従事させること ・仕事の権限を、性別によって異なって与えること ・能力、資質の判断基準が、性別によって異なること
間接差別の禁止	・募集または採用にあたり、必要以上の身長、体重または体力を要件とすること ・総合職の採用にあたって、転居を伴う転勤が可能であることを要件とすること ・昇進に転勤の経験の有無を要件とすること
妊娠・出産などを理由とする不利益な取扱いの禁止	・不就労期間をこえての、賃金の不支給 ・賞与や退職金の不利な算定 ・業務の遂行が困難で、配置変更をする必要がある場合において、賃金などその他の労働条件が劣る配置の変更を行うこと

悪質な布団の「訪問販売」に注意!

相談事例

ある日突然、自宅に「布団の無料点検をしている。使っている布団を見せてほしい。」と言って業者が訪ねて来た。

断ったつもりが、強引に家に入り込んできて勝手に布団の点検を始めた。

「ダニやカビ、湿気がひどい。こんな布団で寝ていたら病気になる。」などとしっかりと言われ、「もう帰ってほしい。」と何度言っても一向に帰ってくれないので、断りきれず高額な布団を契約してしまった。

古い布団は業者が持って帰ってしまったため、仕方なく新しい布団を使っているが、年金生活で高額な布団の支払いが困難であるので解約したい。



訪問販売で、必要のない高額な布団類の契約を結んでしまったという相談が多く寄せられています。

この事例は、布団の無料点検を名目に、販売目的を告げないで、家族の留守中や一人暮らしの高齢者に近づいて不安をあおり、不要なものを売りつける「点検商法」の事例です。

最初から布団の販売が目的であるのに、この他にも、

「古い布団があったら引き取ります。」「布団のクリーニングをしてあげる。」などと誘い、高額な布団を購入させる悪質な訪問販売業者がいます。

くれぐれもご注意ください。

アドバイス

事例の場合は、クリーニング・オフ期間を経過してしましたが、消費生活センターから勧誘時の問題点「病気になる」(不実告知)や相談者が「もう帰ってほしい」と伝えているにもかかわらず居座ったこと(不退去)を指摘して、業者と解約交渉を行い、契約を

解除することができました。また、業者が持ち帰った布団は業者の費用負担により、返してもらうことができました。

○悪質な訪問販売に対応する際の留意点

訪問販売の場合、契約書面を受領した日を含めて八日以内であれば、使用した布団でもクリーニング・オフ(無条件解約)することができます。

・ 不必要な場合には、きっぱりと断る勇気を持ちましょう。

・ 「点検だけならいいだろう」という考えは、トラブルのもとです。不用意に業者を家に上げないようにしましょう。

・ 業者の説明をうのみにして即断しないで、家族などに相談し、本当に必要なものかどうか、支払いはできるかどうかを考え、契約は慎重に行いましょう。

相談窓口

クリーニング・オフの方法やその他消費生活に関する困りごとがあれば、一人で悩まず、お早めに、消費生活センター、江府町役場、警察署にお気軽にご相談ください。

鳥取県生活環境部消費生活センター 西部消費生活相談室

米子市末広町294

電話 0859-34-2648・2668

江府町役場 総務課

電話 0859-75-2211



2月の本棚

～町立図書館より～



江府町立図書館

江尾1944-2

TEL 77-2000

FAX 77-2213

*あたらしくはいった本

◎小説・エッセイなど

- ・はじめての文学 村上春樹 ・梨の花は春の雪 松本薫 ・螺鈿迷宮 海堂尊
- ・呪い遊び Saori ・特別法001条 DUST 山田悠介
- ・照り柿 藤原緋沙子 ・孤影抄 藤沢周平 ・秋風抄 藤沢周平
- ・空 Chaco ・小説のためカンタービレ 高里椎奈 ・永遠の夢 百音
- ・銀の砂 柴田よしき ・使命と魂のリミット 東野圭吾 ・風林火山 井上靖
- ・翼の折れた天使たち 星 Yoshi ・恋空 上・下 美嘉 ・もしもキミが。 凛
- ・霧の中のエリカ 重松清 ・美丘 石田衣良 ・ズッコケ中年三人組 那須正幹
- ・ラブアットナイト 有也 ・エラいところに嫁いでしまった! 槇村君子
- ・シュミじゃないんだ 三浦しをん ・いい言葉は、いい人生を作る 斉藤茂太
- ・まっとう勝負 橋下徹 ・ふぞろいな秘密 石原真理子
- ・私の嫌いな10の人びと 中島義道 ・ぼくと1ルピーの神様 ヴィカス・スワラップ

◎その他

- ・今週、妻が浮気します GoAhead.co ・彼女は嘘をついている 小泉知樹
- ・「頭のいい人」はシンプルに生きる ウェイン・W・ダイナー ・小泉の勝利メディアの敗北 上杉隆
- ・ワタシとまめゴマ日記2 ヨネムラユミ ・まんねん貧乏 得能史子
- ★ツレがうつになりまして。 細川貂々 ★教室の悪魔 山脇由貴子
- ・武田信玄と山本勘助のことが面白いほどわかる本 中見利男
- ・かんたんレシピブック4 日本テレビ ・10分でごはん! オレンジページ

◎児童書

- ・ももんちゃんどすこーい / ももんちゃんのっしのっし / どんどこももんちゃん とよたかずひこ
- ・少女海賊ユーリ 流星の歌 / 指輪のちかい / 剣にかがやく星 みおちづる

2月17日～23日は アレルギー週間!



2月20日は、「アレルギーの日」です。

ご存知でしたか!?

ひとことにアレルギーといっても、人それぞれいろいろとあります。「花粉」「食べもの(そば・落花生・卵...)」「ハウスダスト」など。

図書館では「アレルギー」に関する本を集め展示します。

ひよっとしたらアレルギーの不思議を解明できるかも?!

(展示こーなーで、2/16(金)～)

*今日のおすすめ!

★教室の悪魔 山脇由貴子



地獄の心理ゲームと化した「いじめ」の正体を示し、大人がなすべきことを具体的に、ズバリ提示する。

★ツレがうつになりまして

細川 貂々

ツレ(夫)が、ある日突然「うつ」に。嫁とともに送る生活の中で回復していく1年半の姿を描く。



◆今月の休館日は、2月22日(木)です。◆

行事あれこれ

2月

都合により、日程が変更される場合があります。

日曜日	行事名	場所	時間
12月			
13火	ウエルビクス教室	総合健康福祉センター	9:30~11:30 13:00~15:30
14水	人権行政相談	役場南庁舎会議室	9:00~12:00
	太極拳練習会	総合健康福祉センター	9:30~11:30
15木	明德学園	防災情報センター	9:30~
	体験入園	子供の国保育園	10:00~11:30
16金	確定申告(新一) (本四・新二)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	公民館講座(陶芸)	高齢者創作館	13:00~
	はつらつ運動教室	総合健康福祉センター	14:00~16:00
	公民館講座(ストレッチ)	防災情報センター	19:00~
17土	習字教室(広域隣保活動)	明道児童館	13:30~
18日	自作ソノin奥大山	奥大山スキー場	受付9:00~
19月	確定申告(本二・本三) (本五)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	ウエルビクス教室	総合健康福祉センター	9:30~11:30 13:00~15:30
	公民館講座(墨彩画・韓国語)	防災情報センター	13:30~
20火	確定申告(柿原) (小江尾・大満)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
21水	糖尿病予防個人相談会	総合健康福祉センター	随時(8:30~17:30)
	確定申告(本二) (久連)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	太極拳練習会	総合健康福祉センター	9:30~11:30
	公民館講座(押し花)	防災情報センター	13:30~
22木	犬・ネコ引取日	総合健康福祉センター	8:30~9:00
	確定申告(佐川)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	公民館講座(ガラスアート)	防災情報センター	13:30~
23金	確定申告(大河原) (吉原・西成・袋原)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	赤ちゃん健診・BCG接種・離乳食講習	総合健康福祉センター	受付13:00~13:30
	公民館講座(パッチワーク)	防災情報センター	13:30~
	公民館講座(日舞)	防災情報センター	19:00~
24土	公民館講座(和紙折紙)	防災情報センター	10:00~
	習字教室(広域隣保活動)	明道児童館	13:30~
25日	奥大山スノーボードクロス	奥大山スキー場	受付7:45~

日曜日	行事名	場所	時間
26月	確定申告(洲河崎)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	ウエルビクス教室	総合健康福祉センター	9:30~11:30 13:00~15:30
	公民館講座(韓国語)	防災情報センター	13:30~
27火	確定申告(下安井) (武庫)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	公民館講座(写真)	防災情報センター	13:30~
28水	確定申告(池の内)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	太極拳練習会	総合健康福祉センター	9:30~11:30
	農地相談会	役場会議室	13:30~16:00

3月

日曜日	行事名	場所	時間
1木	確定申告(日の詰・深山口) (尾之上原)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	1歳6月歳児・2歳児健診	総合健康福祉センター	受付13:00~13:30
2金	確定申告(助沢) (新道・一旦・高谷)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
3土	下蚊屋神楽	防災情報センター	13:30~
4日			
5月	確定申告(御机・笠良原・栗尾) (荒田・半の上・宮の前)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	公民館講座(韓国語)	防災情報センター	13:30~
6火	確定申告(杉谷) (美用・小原)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	公民館講座(エアロビクス)	防災情報センター	19:00~
7水	確定申告(下蚊屋) (宮市・宮市原)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	公民館講座(韓国料理)	防災情報センター	11:00~
8木	犬・ネコ引取日	総合健康福祉センター	8:30~9:00
	確定申告(貝田)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
9金	公民館講座(油絵・水彩画)	防災情報センター	13:30~
	確定申告(農業青色)	防災情報センター	8:40~11:00 13:00~16:00
10土	中学校卒業式	江府中学校	
11日	烏ヶ山スラローム	奥大山スキー場	

●広域隣保活動の教室参加希望者は本五集会所(☎75-2624)へ連絡してください。

求人募集

2月分

求人事業所名	所在地	職種	年齢	賃金	就業時間
日本生命保険(相)日野支所	佐川1028-1	生命保険、損害保険の販売	20~50	120,000	9:00~17:00
社会福祉法人寿耕会(チロルの里)	久連7	介護職員	不問	126,000~134,400	交替制 8:30~17:30 16:30~9:30 (夜勤出来る方)
社会福祉法人寿耕会(チロルの里)	久連7	看護師(正・准)	不問	148,500~186,200	8:30~17:30
日本メンテナンスエンジニアリング(株)江府事業所	佐川2	施設管理技術職	20~35	150,000~217,000	8:00~17:00

●求人情報に関する問い合わせ先 米子公共職業安定所根雨出張所(TEL72-0065)

※町報掲載時までには、充足済等により求人が取り消しとなっている場合がありますのでご了承ください。

各種証明書の交付の際、本人確認をします。免許証など本人と確認できるものを持参ください。

人の動き

1月届
(敬称略)

◎お誕生おめでとう

(住所) (氏名) (性別) (保護者)
 洲河崎 佐々木映美 女 博行
 佐川 森田 羚那 女 祐基
 久連 水 下 優作 男 修司

◎ごめい福を祈ります

(住所) (氏名) (年齢) (世帯主)
 西成 神庭 千浪 74歳 良昌
 下蚊屋 筒井 季芳 88歳 太郎
 助沢 加藤 菊江 88歳 學
 栗尾 筒井 久恵 91歳 敏実

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

(1月分) 敬称略

◎見舞い返しとして

久連 杉原 悦香 本人退院

◎香典返しとして

大河原 永岡 徳仁 子みづほ死去



交通死亡事故ゼロ継続日数

1005日 (2月1日現在)

火災

火災ゼロ継続日数

110日 (2月1日現在)

町の人口 3,761人 (-4)
 男 1,770人 (-3)
 女 1,991人 (-1)

世帯数 1,172世帯 (+2)

1月末現在()は前月比

集落内の連絡・広報に!!

吉原自治会に集落有線放送設備、宮市集落に集落内無線システムが整備され集落内の連絡広報に活用されます。

これらの設備は、自治宝くじの普及広報事業として、自治総合センターが行う平成18年度コミュニティ助成事業助成金により整備されたものです。



産業別最低賃金の改定について

鳥取県電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業最低賃金が1時間714円に、また鳥取県各種商品小売業最低賃金が1時間685円に改定されました。

業種や規模、常用、臨時などの雇用形態を問わず、鳥取県内すべての使用者とその労働者に適用される鳥取県最低賃金は、1時間614円になっています。

鳥取県最低賃金

1時間 614円 効力発生日 平成18年10月1日

産業別最低賃金

最低賃金の名称	最低賃金額	効力発生日
鳥取県電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業最低賃金	1時間 714円	平成18年12月20日
鳥取県各種商品小売業最低賃金	1時間 685円	平成18年12月20日

○詳細については、鳥取労働局労働基準部賃金室 (0857-29-1705) または、最寄の労働基準監督署におたずねください。

今月の国民年金

納付期限

2月分
平成19年4月2日まで

社会保険事務所から送られてくる納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

所得税の確定申告の際に国民年金保険料の控除証明書を持って行きましょう。

平成18年分の確定申告の時に国民年金保険料控除証明書の添付が必要です。忘れずに持参して下さい。

もし紛失された場合は、米子社会保険事務所で再発行できますので早めに連絡下さい。

連絡先 米子社会保険事務所
 0859-34-6111
 役場町民課
 75-3223

餅つき交流

はきものをきちんと
そろえましょう

1月30日、みちくさ市は保育園で餅つき交流をし、9人の会員のみなさんが参加されました。

この交流は、地域へ貢献をしたいということで、昨年からはまりました。

保育園からは、年長・中児、保護者の方が参加し、餅つきが始まると、周りを囲んだ園児から、大きな声がかけていました。

餅がつきあがると、みちくさ市会員のみなさんの指導で、園児たちはあんこを入れた餅を丸めていました。

出来上がった餅は、給食で雑煮としておいしく食べました。



所得税、住民税などの申告が始まります

2月16日から3月15日まで、江府町防災・情報センターで平成18年分所得税、平成19年度分住民税（町県民税）および国民健康保険税の申告相談を行います。

平成18年中に、収入のない方も住民税、国民健康保険税の申告をする必要がありますので、申告をしてください。（ただし、給与所得だけで年末調整のしてある方は必要ありません）

○申告をしなかったら

- ・国民健康保険税や介護保険料などの、軽減が受けられなくなる場合があります。
- ・所得証明が必要な場合に、証明書の発行ができなくなります。
- ・期限内に正しい申告をされないと、無申告加算税や延滞税が加算されます。

○申告していない収入があった場合

さかのぼって課税する場合があります。特に個人年金を受給している方、満期保険料を受け取った方は、ご注意ください。

○申告は期間内に正しく行いましょう

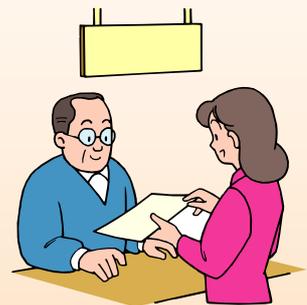
申告の日程など詳しくは、「町報こうふ」1月号をご覧ください。

*問合せ先 役場 町民課 税務係（電話75-3223）

○所得税は、税務署でも申告できます

*期間 3月15日まで（土・日・祝日は除きます）

*場所 米子コンベンションセンター（ビッグシップ）



江府町
明るい家庭づくりのしおりから